

TOTO

クリーンドライ（温風タイプ）

TYC110型

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。製品にはお客様用として、取扱説明書（保証書付）が同梱されています。工事完了後は必ず付属の保証書に、店名及びお取付け日を記入してお客様へお渡しください。

1 安全上のご注意（安全のために必ずお守りください。）

取付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では製品を安全に正しく取付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性または物的損害を生じる可能性があることを示しています。

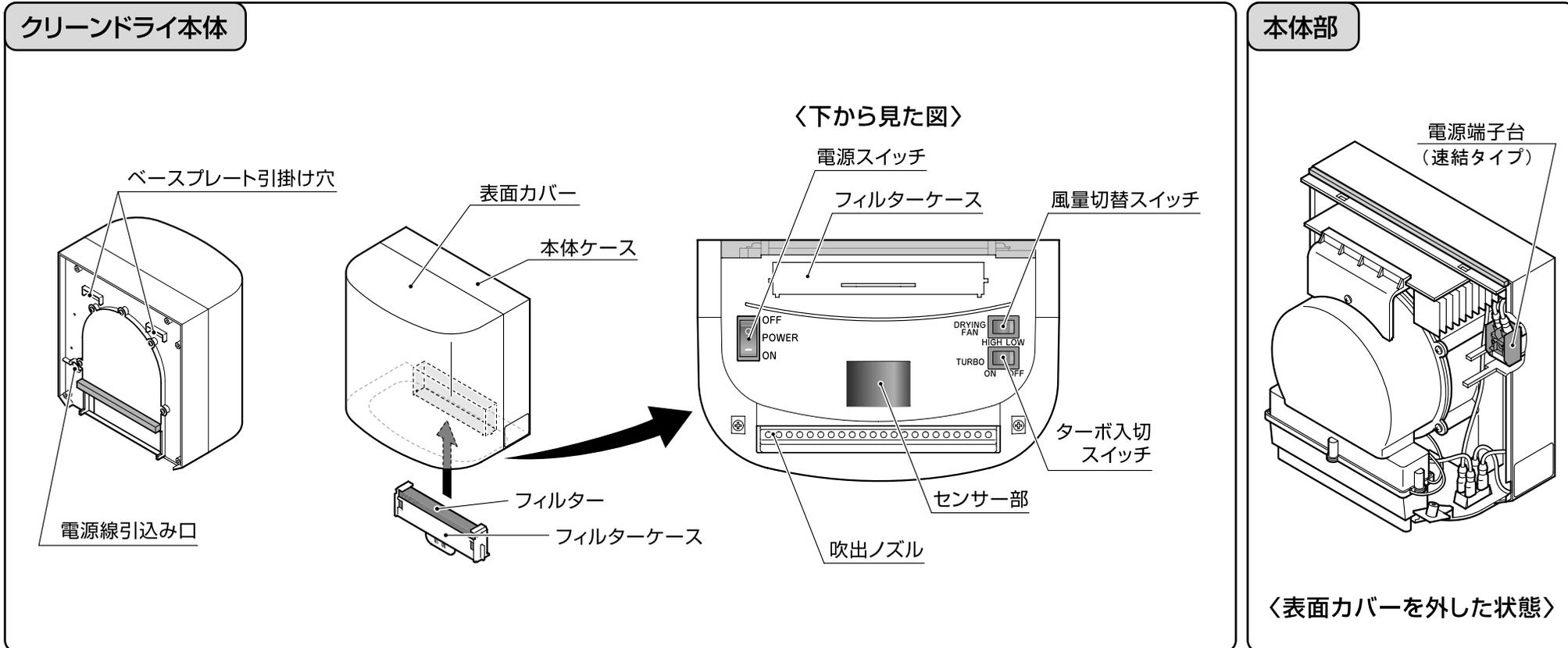
 禁止
 分解禁止
 必ず行う
 水場使用禁止

 警告	
	電気工事は電気工事業者に依頼し、電気設備基準や内線規定にしたがって、確実に行ってください。 誤った電気工事は、感電、火災の原因となります。
	電源にコンセントプラグを使用する際は、定格仕様のコンセントを単独で使用してください。（施工方法3-3参照ください。） 他の機器と併用するとコンセントなどが発熱し、火災のおそれがあります。

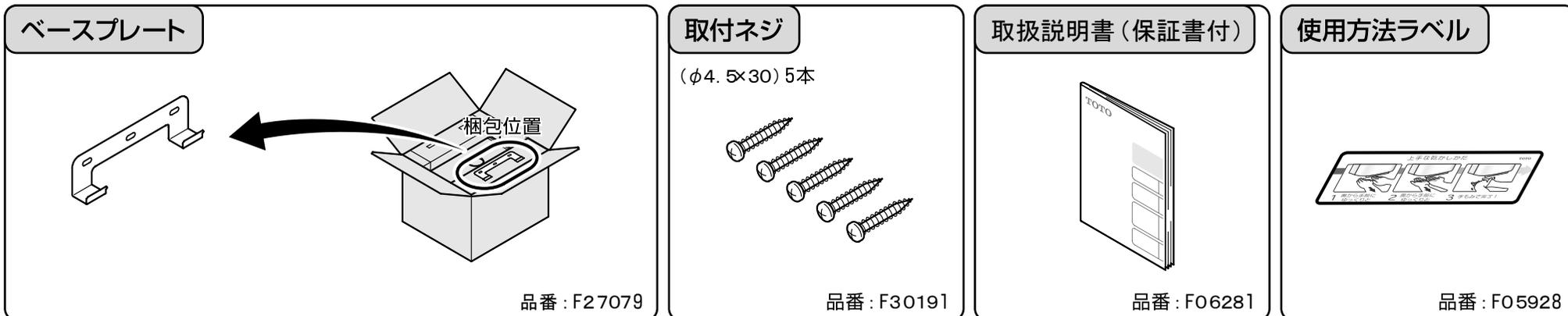
 警告	
	電源には漏電遮断器を取付けてください。 故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。
	電源コードは、定格仕様の物を使用し確実に接続してください。 接続が不十分だと火災のおそれがあります。
	製品の改造や分解をしないでください。 感電、火災、けが、故障のおそれがあります。
	屋外や浴室など湿気が多い場所や直接水のかかる場所には取付けしないでください。 漏電して、感電、火災または故障のおそれがあります。

 注意	
	本体は十分強度がある平らな壁面に確実に取付けてください。 落下してけがをしたり、破損するおそれがあります。
	腐食性ガスや可燃性ガスなどの雰囲気中には取付けしないでください。 製品内部の機器が故障し、誤動作するおそれがあります。
	製品底面から下方15cm以内に物を置かないでください。 また、凸凹のある壁面には取付けしないでください。 使い勝手および、フィルターケースの着脱性に支障をきたすおそれがあります。

2 部品の確認および各部のなまえ



付属品



3 施工方法

3-1 施工前の注意

警告

電源工事は電気工事業者に依頼し、電気設備技術基準や内線規定に従って確実に行ってください。

誤った電気工事は、感電、火災の原因となります。

電源には漏電遮断器を取付けてください。
故障や漏電の際に、感電するおそれがあります。

■TYC110型（100V）は、定格10Aまたは1.5A・AC100Vの漏電遮断器を単独で設置してください。

※TYC110型の電源は、単相100Vを印加してください。
200Vを印加すると製品（基板）が故障します。

3-2 電源線直結時の施工方法

（コンセントプラグ使用時は3-3から参照ください）

1 スイッチボックスの埋込みと配線

・スイッチボックス（JIS C 8340）を壁面に埋込み、電源線（600Vビニル絶縁電線、またはVVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線）を配線します。

※600Vビニル絶縁電線（より線）の場合、電源端子台（速結タイプ）への接続には、絶縁被覆付圧着端子（松下電工製WV2 500/WV2 501）をご使用ください。

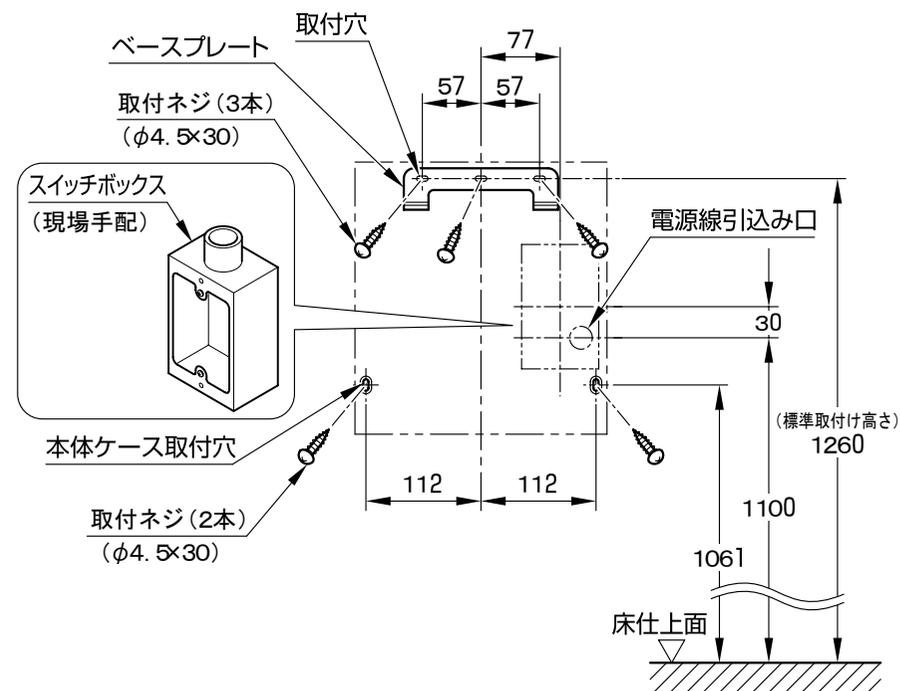
- ・スイッチボックスの中心位置は、以下の通りとしてください。
（※ベースプレート取付穴が標準取付高さ1260mmを目安で取付けられる場合）
- ・上下方向…床面より1130mm、左右方向…中心より77mm 右側
電源線は壁面から300mm程度出しておいてください。

2 ベースプレートの取付け

注意

本体は十分強度がある壁面に確実に取付けてください。
落下してけがをしたり、破損するおそれがあります。

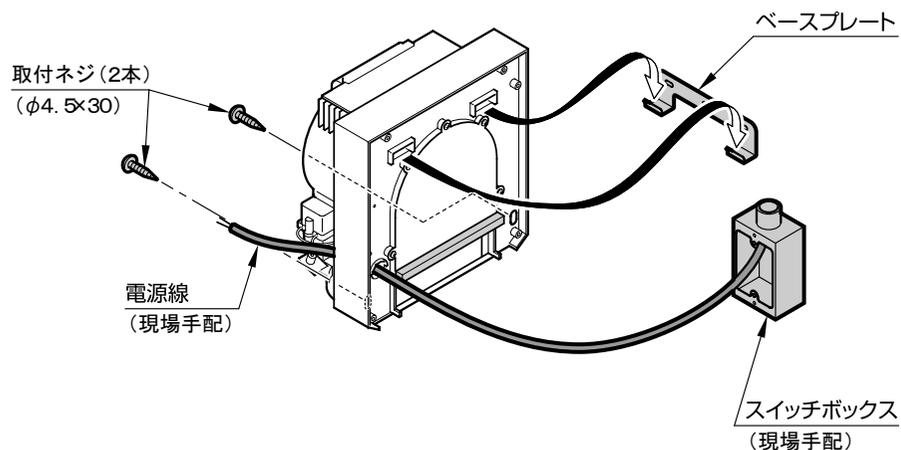
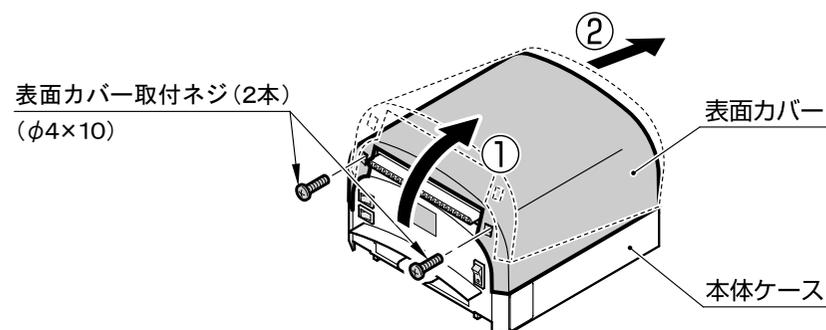
- ・ベースプレートを取付ネジ（φ4.5×30）3本を用いて、確実に壁面に固定します。
- ・タイルやコンクリートの壁面に取付ける場合には、カールプラグ（現場手配）やAYボルト（現場手配、呼び径M5）などを使用して取付けてください。



※ベースプレートの取付穴位置は、床面から1260mmを目安にしてください。

3 本体ケースの取付け

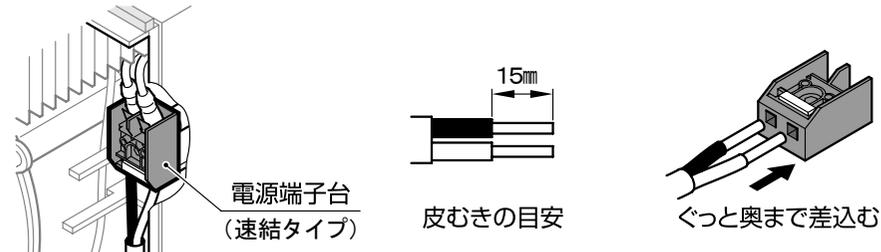
- ・表面カバー取付ネジ (φ4×10) 2本を取外し、本体ケースに取付けている表面カバーを取外します。
- ※表面カバーは①表面カバー下部を手前に引き、②製品上側へ押し上げるようにして取外してください。
- ・本体ケース裏側の電源線引込み口より電源線を引込み、本体ケースをベースプレートに引掛けます。
- ・本体ケース下部を取付ネジ (φ4.5×30) 2本で固定します。



- ※ 自動ドア連動ボックス (オプション) を設置する場合は、自動ドア連動用ハーネス (オプション付属品) を同時に引込んでください。
(「自動ドア連動ボックス (オプション) の接続方法」の項参照)

4 電源線の接続

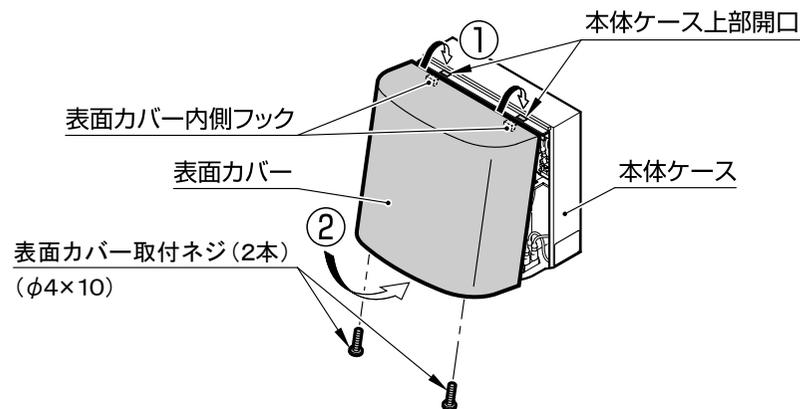
- ・本体ケース内に引込んだ電源線を電源端子台に接続します。
- ※ 600Vビニル絶縁電線 (より線) の場合は、絶縁被覆付圧着端子 (松下電工製 WV2 500/WV2 501) を使用し電源端子台に差込んでください。



- ※ 自動ドア連動ボックス (オプション) を設置する場合は、自動ドア連動用ハーネス (オプション付属品) を自動ドア連動用中継ハーネスコネクタ (P7) に接続してください。
(「自動ドア連動ボックス (オプション) の接続方法」の項参照)

5 表面カバーの取付け

- ・表面カバーを本体ケースに取付け、表面カバー下部を表面カバー取付ネジ (φ4×10) 2本で固定します。
- ・表面カバーは①本体ケース上部にある開口部に表面カバー内側のフックを差込み、②かぶせるようにして取付けてください。
- ※表面カバーを取付ける際は、電源線やリード線等をかみ込まないよう、注意しながら作業してください。



3-3 コンセントプラグ使用時の施工方法



警告

電源にコンセントを使用する際は、定格仕様のコンセントを単独で使用してください。
他の機器と併用するとコンセントなどが発熱し、火災のおそれがあります。

コンセント（定格15A AC1 25V）を単独で設置してください。

※ プラグ付き電源コードは、必ず別売品（品番：TYC502）を使用してください。

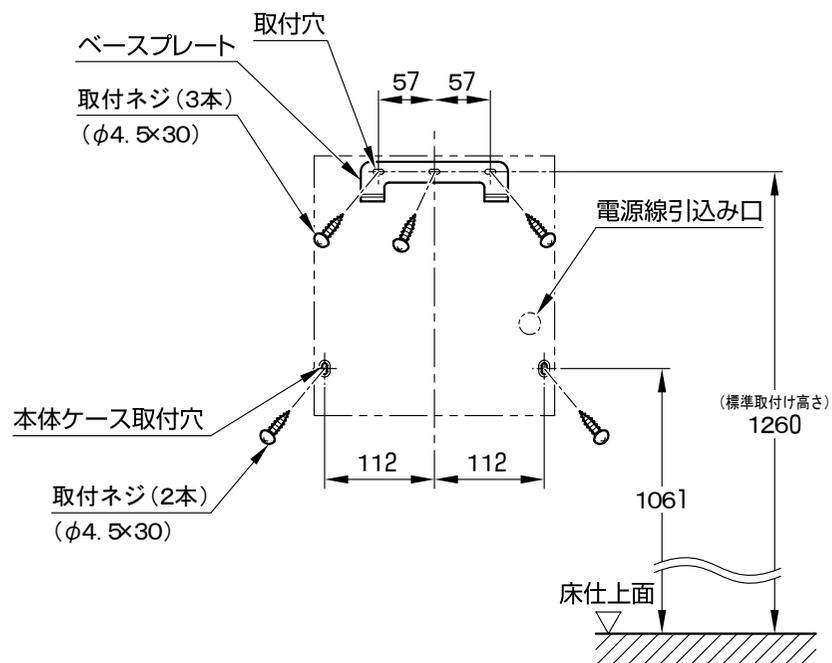
1 ベースプレートの取付け



注意

本体は十分強度がある壁面に確実に取付けてください。
落下してけがをしたり、破損するおそれがあります。

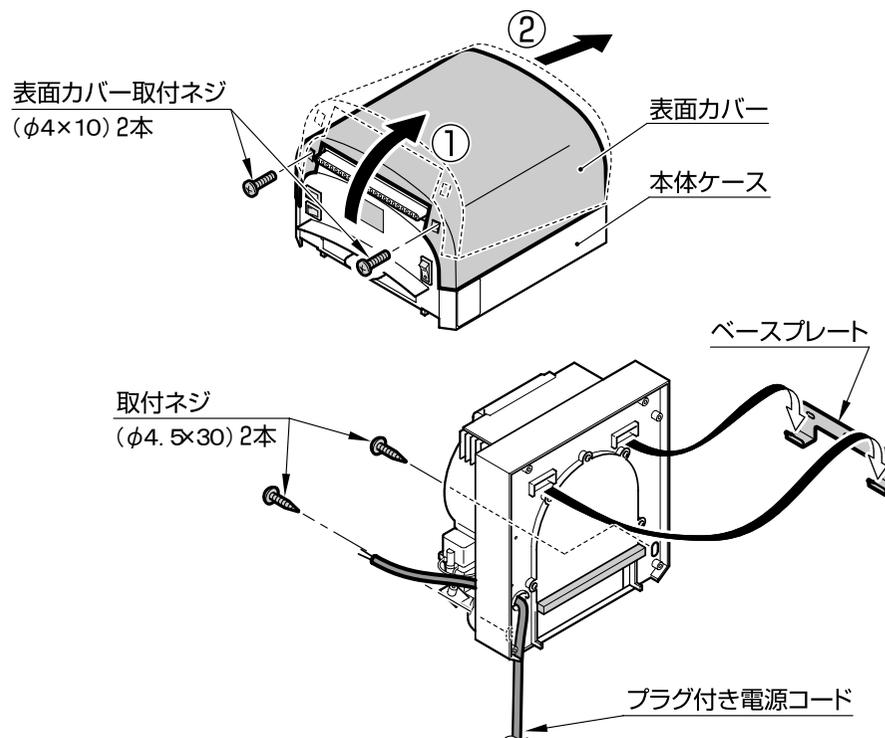
- ・ プラグ付き電源コードが既設および新設のコンセントまで届くことを確認の上、ベースプレートを取付ネジ（ $\phi 4.5 \times 30$ ）3本を用いて、確実に壁面に固定します。
- ・ タイルやコンクリートの壁面に取付ける場合には、カールプラグ（現場手配）やAYボルト（現場手配、呼び径M5）などを使用して取付けてください。



※ ベースプレートの取付穴位置は、床面から1260mmを目安にしてください。

2 本体ケースの取付け

- ・ 表面カバー取付ネジ（ $\phi 4 \times 10$ ）2本を取外し、本体ケースに取付けている表面カバーを取外します。
- ※ 表面カバーは①表面カバー下部を手前に引き、②製品上側へ押し上げるようにして取外してください。
- ・ 本体ケース裏側の電源線引込み口より電源線を引込み、本体ケースをベースプレートに引掛けます。
- ・ 本体ケース下部を取付ネジ（ $\phi 4.5 \times 30$ ）2本で固定します。
- ※ 自動ドア連動ボックス（オプション）を設置する場合は、自動ドア連動用ハーネス（オプション付属品）を同時に引込んでください。
（「自動ドア連動ボックス（オプション）の接続方法」の項参照）



※ プラグ付き電源コードは、本体正面よりみて右下側へ配置しながら、本体ケースを取付けてください。

※ コードが壁面と本体ケースとの間にはさまれないように十分注意してください。

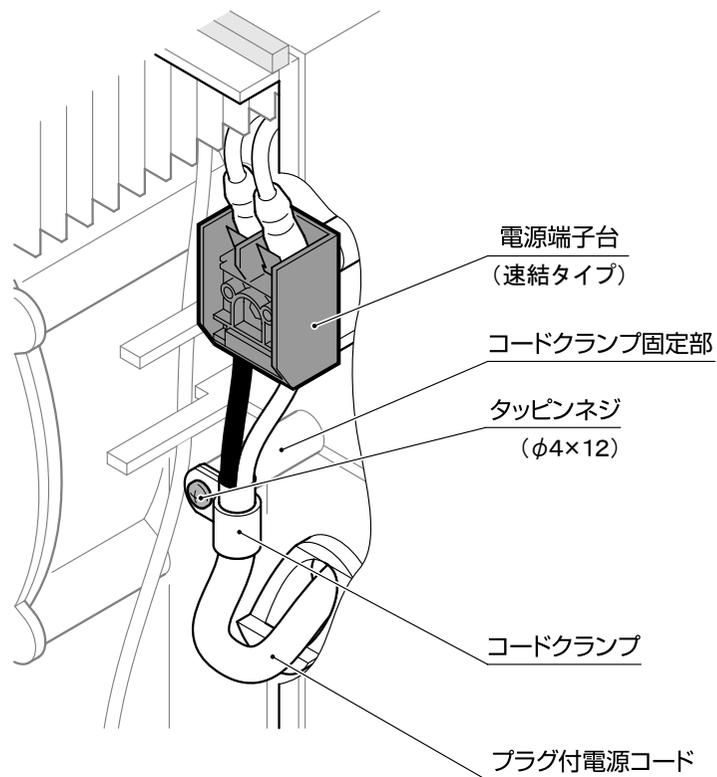
3 プラグ付き電源コードの接続



警告

プラグ付き電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重いものを載せたり、たばねたりしないでください。プラグ付き電源コードが破損し、感電、火災のおそれがあります。

- ・ 本体ケース裏側の電源線引込み口より引き込んだプラグ付き電源コードを電源端子台に差込みます。

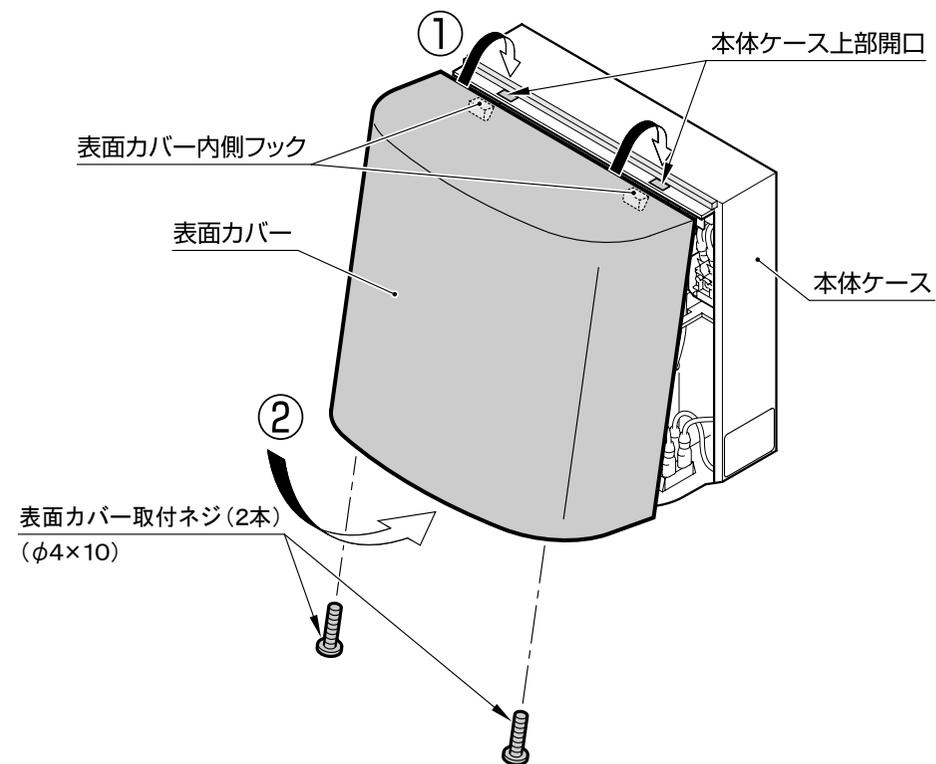


※ プラグ付き電源コード (別売品 : TYC502) を使用する場合は、付属のコードクランプ 1個とタッピンネジ (φ4×12) 1本にて本体ケースの電源線引込み口上にあるコードクランプ固定部にプラグ付き電源コードを固定してください。

4 表面カバーの取付け

- ・ 表面カバーを本体ケースに取付け、表面カバー下部を表面カバー取付ネジ (φ4×10) 2本で固定します。
- ・ 表面カバーは①本体ケース上部にある開口部に表面カバー内側のフックを差込み、②かぶせるようにして取付けてください。

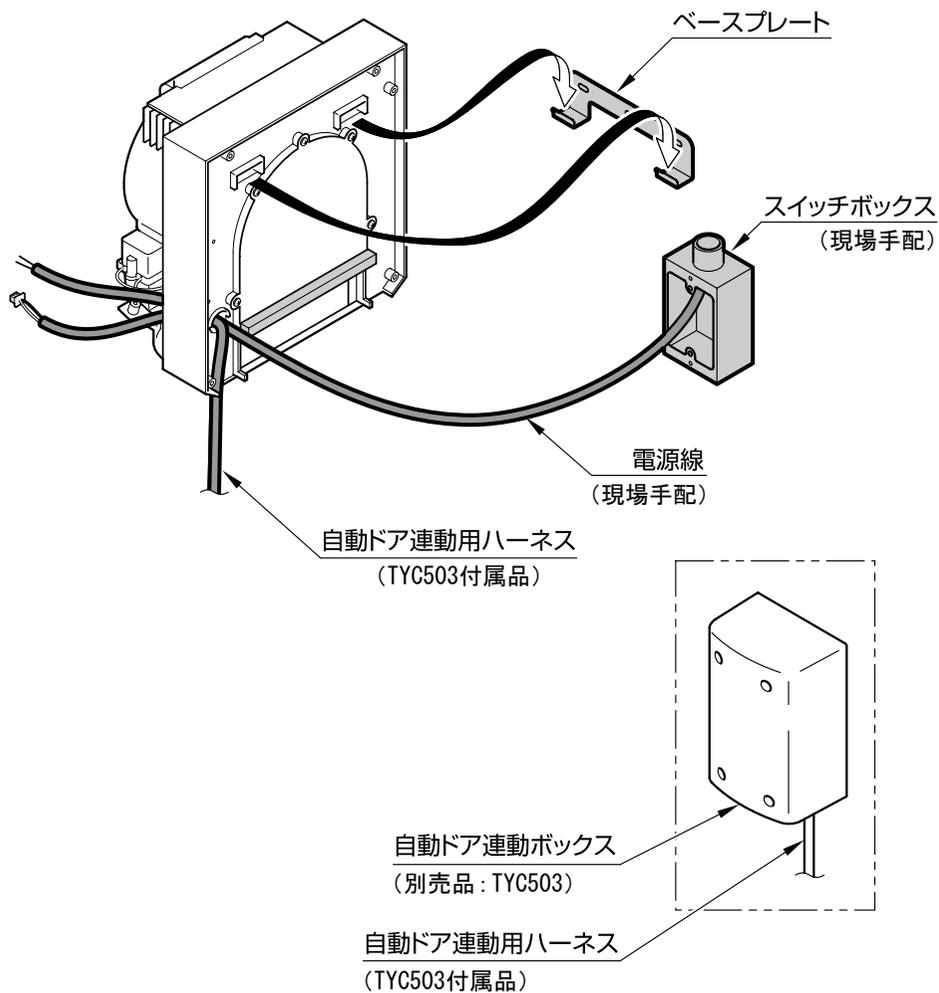
※ 表面カバーを取付ける際は、電源線やリード線等をかみ込まないよう、注意しながら作業してください。



4 自動ドア連動ボックス (オプション) の接続方法

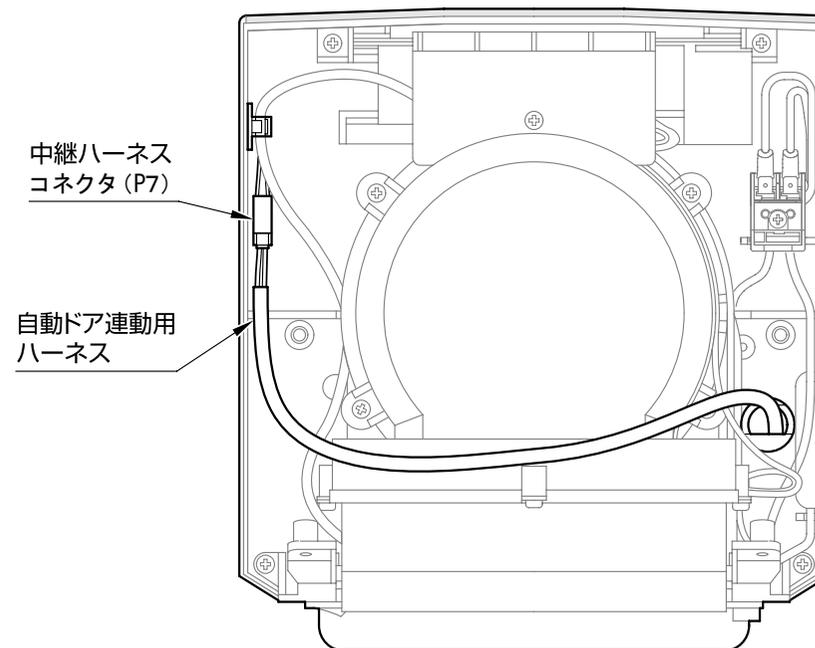
1 自動ドア連動用ハーネスの引込み

- ・ 本体ケース内に電源線を引込む際に、自動ドア連動用ハーネス (自動ドア連動ボックス付属品) も同時に引込みます。
(図は電源線直結方法にて施工した場合です)



2 自動ドア連動用ハーネスの接続

- ・ 本体ケース内に引込んだ自動ドア連動用ハーネス (自動ドア連動ボックス付属品) を自動ドア連動用中継ハーネスコネクタ (P7) に接続します。



※ 自動ドア連動用ハーネスの配線は、上図を参考にしてください。

自動ドア連動ボックス (オプション) について

- ・ クリーンドライの動作信号によって、自動ドアを「開」するための装置です。
品番: TYC503 (希望小売価格: ¥20,000)
- ※ 使用方法など詳細は、自動ドア連動ボックスに添付の取扱説明書をご参照願います。

5 試運転

■ 施工が完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。

1. 電源の投入

- ・ 屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。
または電源プラグをコンセントに差込んでください。

2. 電源スイッチの確認

- ・ 電源スイッチを入れてください。

3. 動作の確認

- ・ 吹出ノズルの下に手を差出し、風が吹出すことを確認してください。

4. 風量切替スイッチ、ターボ入切スイッチの確認

- ・ 風量切替スイッチおよびターボ入切スイッチを操作し、モードが切替わっているか確認してください。

※切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。

5. 自動ドア連動の確認（オプションの自動ドア連動ボックス接続の場合のみ）

- ・ 自動ドアの開閉を含めた一連の動作を行い、正常に機能しているか確認してください。

■ 試運転の後は

- ・ 試運転での動作確認が終了しましたら、同梱の「取扱説明書（保証書付）」をお客様に渡し、製品の使い方について説明してください。